

新世代ワークフローの最新版「Trueflow SE Ver.6.0」を発表 ～「OutlinePDF-Advance」に対応、究極のワークフローがさらに進化～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのたび、先進の新機能を搭載したワークフロー RIPの最新版「Trueflow SE Ver.6.0」を開発。2008年8月に販売を開始します。

「Trueflow」は、CTP時代のワークフローとして2000年に登場して以来、使いやすさの追求と最先端技術の導入を重ね、現在に至るまで着実な進化を遂げてきました。「Adobe PDF Print Engine®」を搭載し、最新のRIPテクノロジーとCTPワークフローのノウハウを融合したJDF/CIP4対応ワークフローシステム「Trueflow SE」を市場に投入してから1年、今回さらなる先進機能を新たに搭載し、「EQUIOSNET※」の中核を担うワークフロー RIPとして、最新版「Trueflow SE Ver.6.0」を発表します。

CTPを効率良く稼働させるとともに、プルーフや検版など、運用そのものを左右するワークフロー。新しいスタイルの印刷ビジネスの実現には、ハイブリッドワークフローをはじめPOD(プリント・オン・デマンド)への対応とともに、CTPワークフローのさらなるバージョンアップが不可欠となります。

当社は、今回の「Trueflow SE Ver.6.0」の発売により、世界トップシェアを誇るCTPベンダーとして、印刷品質と生産性のさらなる向上を図ります。同時に、PODの可能性を追求するデジタル印刷関連機器の分野でもナンバーワンを目指すなど、世界の印刷・製版業界におけるリーディングカンパニーとして、PODへの流れが加速する印刷業界における新たなブランドの構築と強化を図ります。そして、新しい印刷ビジネスのスタイルを提案し、「Creating a Future in Print」のテーマの下、お客さまとの「未来共有」に努めていきます。

※ EQUIOSNET

CTP、POD、トランスプロモのワークフローを統合するとともに、「Ecology」「Value Creation」「Media MIX」というエッセンスをPODにより拡大・強化した、パーソナライズ時代のワークフローソリューション。CIM、CRM、CMSを軸とするこれまでの「Trueflownet」コンセプトに新たにパーソナライゼーションを加え、さらに進化させた新しい印刷ビジネスソリューションです。マスプロダクションばかりでなく、パーソナライゼーションにも対応する印刷業界のパラダイムシフトにいち早く応え、さまざまな可能性を持つ印刷の付加価値の創造を提案していきます。

* 「Trueflow SE Ver.6.0」は、2008年5月29日から6月11日までドイツ・デュッセルドルフで開催される国際総合印刷機材展「drupa 2008」でご紹介します。

< Trueflow SE Ver.6.0の新機能 >

- **OutlinePDF-Advance**

業界スタンダードフォーマット「OutlinePDF」が、さらに進化。最新PDFルートでも、これまでのOutlinePDFと同様の運用が可能となりました。文字のエンベッドに加え、破線や線分要素のアウトライン化が選択できるなど、デジタルフィルムとしての信頼性が格段に向上しました。また、殖版など同一データをリピータ配置する場合、RIPデータを繰り返し使用することにより、データ容量と処理時間を大幅に削減します。

- **デジタル検版機能**

出力の信頼性向上に効果を発揮するデジタル検版機能。その重要度の高まりとともに、ユーザーからの強い支持を集めるページ検版機能が、最新PDFルートの運用においても活躍します。

- **自動面付け機能**

大貼りソフトウェア「FlatWorker SE Auto Edition」との組み合わせにより、大量ページの面付けを効率良く処理できます。また、使用する用紙や刷版のサイズに応じて、ページ位置やアクセサリも自動追従。操作性と生産性のさらなる向上に貢献します。

- **バージョンニング**

マニュアルの多言語展開など、部分的な差し替えによる複数バリエーションの制作に威力を発揮。複数レイヤー構造のPDFに対応するなど、より柔軟なデザイン制作環境に対応します。また、複数のバージョンを一気に制作するため、必要なものを選択して出力できます。

- **「PDF Trapeditor」**

「Trueflow SE」のトラップ処理を自由に変更できるAcrobat®用プラグインソフト「PDF Trapeditor」の、最新PDFルートでの運用を実現。Windows環境に加え、Mac環境にも対応しています。

- **最新版「PitStop」のプロファイルに対応**

強力なプリフライト機能とPDF編集機能により、目的に合わせてPDFを最適化するAcrobatプラグインソフトウェア「PitStop」の最新プロファイルに対応。強力なPDFプリフライト機能との連携により、極めて安定性に優れたPDFワークフローの構築に貢献します。

< drupa 2008 出展概要 >

「drupa 2008」は、世界の印刷関連機材の4大展示会(英国：IPEX、米国：Print、日本：IGAS)の中で最大の規模を誇り、4年ごとにドイツで開催されます。今回は、17万平方メートル強のスペースに、45を超える国々から1,800社以上が出展するなど、drupa史上最大の規模で開催。40万人を超える来場者が見込まれています。当社ブース(ホール8b スタンドNo.A61)では、「Creating a Future in Print」をテーマに、マスプロダクションばかりでなくパーソナライゼーションにも対応する印刷業界のパラダイムシフトに応えるため、PODを視野に入れた新たな印刷ビジネスソリューション「EQUIOSNET」コンセプトを提唱するとともに、多彩な新製品をご紹介します。

* Adobe、Adobe PDF Print Engine、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。